

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年8月12日 (2010.8.12)

【公開番号】特開2009-42332(P2009-42332A)

【公開日】平成21年2月26日 (2009.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-008

【出願番号】特願2007-204937(P2007-204937)

【国際特許分類】

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 B 5/00 F

H 0 4 N 5/232 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月30日 (2010.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

振れ補正機能付きの撮影装置において、  
振れ信号を検出する振れ信号検出手段と、  
該振れ信号検出手段とは別のレンズ制御に関する信号を検出する信号検出手段と、  
前記振れ信号検出手段及び前記信号検出手段に重畳した異常信号を検出する異常信号検出手段と、

振れ補正特性を変更する振れ補正特性変更手段とを有し、  
前記異常信号検出手段により異常信号が検出された場合に、前記振れ補正特性変更手段により焦点距離に応じて前記振れ補正特性を変更することを特徴とする振れ補正機能付き撮影装置。

【請求項 2】

前記焦点距離に応じて、前記振れ補正を停止することを特徴とする請求項 1 に記載の振れ補正機能付き撮影装置。

【請求項 3】

前記レンズ制御に関する信号を検出する前記信号検出手段は、絞り手段の絞り位置を検出する絞り位置検出手段であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の振れ補正機能付き撮影装置。

【請求項 4】

前記異常信号検出手段の結果に応じて、前記絞り位置を補正する絞り位置補正手段を有することを特徴とする請求項 3 に記載の振れ補正機能付き撮影装置。

【請求項 5】

前記振れ補正特性の変更または前記振れ補正の停止は、前記振れ信号検出手段からの出力が所定の値を超え、前記絞り位置検出手段からの出力が絞り目標位置に対して所定の値以上ずれていた場合に行うことを特徴とする請求項 3 に記載の振れ補正機能付き撮影装置

。

【請求項 6】

前記振れ補正特性の変更または前記振れ補正の停止は、前記振れ信号検出手段からの出

力に所定の周波数を超える周波数が含まれ、前記絞り位置検出手段からの出力にも所定の周波数を超える周波数が含まれていた場合に行うことを特徴とする請求項 3 に記載の振れ補正機能付き撮影装置。

【請求項 7】

前記レンズ制御に関する信号を検出する前記信号検出手段は、温度を検出する温度検出手段であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の振れ補正機能付き撮影装置。

【請求項 8】

前記異常信号検出手段の結果に応じて、前記温度検出手段の補正を行う温度補正手段を有することを特徴とする請求項 7 に記載の振れ補正機能付き撮影装置。

【請求項 9】

前記振れ補正特性の変更は、前記振れ信号検出手段からの出力に所定の周波数を超える周波数が含まれ、前記温度検出手段からの出力から単位時間毎の温度変化の傾きが所定の値よりも急であった場合に行うことを特徴とする請求項 7 または 8 に記載の振れ補正機能付き撮影装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上記課題を解決するために本発明に係る振れ補正機能付き撮影装置の技術的特徴は、振れ信号を検出する振れ信号検出手段と、該振れ信号検出手段とは別のレンズ制御に関する信号を検出する信号検出手段と、前記振れ信号検出手段及び前記信号検出手段に重畳した異常信号を検出する異常信号検出手段と、振れ補正特性を変更する振れ補正特性変更手段とを有し、前記異常信号検出手段により異常信号が検出された場合に、前記振れ補正特性変更手段により焦点距離に応じて前記振れ補正特性を変更することを特徴とすることにある。